

『彦根論叢』『経済学部100周年記念企画』第2弾  
エッセイ「百年の伝承 資料収集と、その保存と公開と活用へ」にあたって

2023年9月11日に滋賀大学経済経営研究所は創設100周年を迎えました。1923年の4月に彦根高等商業学校が開校し、同じ年に調査課が設けられました。経済経営研究所はそれを母体としています。1949年には経済研究所となり、その後、のちの附属史料館の機能を含む研究所として日本経済文化研究所と改称、1975年には現在の経済経営研究所となり、2020年に附属リスク研究センターの機能を統合しました。

その間、一貫して、滋賀大学経済学部のなかの附属施設として、資料の収集と管理に取り組み、研究と教育のサポートに励んできました。その積み重ねの100年について、経済経営研究所にゆかりのある学外の方々に、資料の利用と研究という立場からエッセイをご執筆いただきました。

エッセイは、経済経営研究所の収集した資料をどのように活用し、現在の研究に繋げておられるのか、さまざまな視点からご寄稿いただいています。経済経営研究所の思い出とともに、所蔵資料の解題としてお読みいただけましたら幸いです。

なお、この企画は、経済学部の江竜美子助手の協力を得ました。

『彦根論叢』編集委員会